

No.	推 薦 団 体	氏 名	市町村名	功 績 等
1	福島県ソフトテニス連盟	く ま さ か かつ の ぶ 熊 坂 雄 延	福島市	平成18年から平成28年までの11年間、福島県ソフトテニス連盟副理事長として、全日本シニアソフトテニス選手権大会、東北総合体育大会、県総合体育大会等の運営並びに小・中学生の指導に貢献した。 平成29年から現在に至るまで副会長として、全日本ミックスダブルス選手権大会、東北総合スポーツ(体育)大会、県総合スポーツ(体育)大会等の開催に尽力した。また、県連盟の組織拡大並びに福島県内のジュニア等で小中学生の指導・ソフトテニスの普及を行い、ソフトテニスの振興に多大なる貢献をしている。 ○副会長8年 副理事長11年
2	福島県ライフル射撃協会	す と う も り お 須 藤 盛 夫	福島市	平成24年度より現在に至るまで13年間の長きにわたり、理事長として福島県ライフル射撃協会の発展・後進の指導育成に努めた功績は偉大である。また、日本ライフル射撃協会の名誉審判として、国民体育大会・国民スポーツ大会・東北北海道ブロック大会・全日本選手権大会等々の各種大会に競技役員として出役し現在も活躍中である。 ○理事長13年
3	(一社)福島県バスケットボール協会	わた な べ よ し ふ み 渡 辺 善 文	郡山市	平成23年から平成30年まで8年間、福島県バスケットボール協会副理事長として貢献した。東北6県の各県協会と連携を深め円滑な行事運営に努めた。また、県全体がチーム福島として一つにまとまるよう尽力した。 令和元年から現在に至までの6年間、福島県バスケットボール協会副会長兼県南バスケットボール協会会長として貢献し、県協会と地区協会の協力と連携に努めた。特に県南地区協会においては時代の趨勢に沿った組織の合理化と再構築を図った。また、県内最大のチーム数がある中で小中高大・社会人の交流と連携を図り指導者・選手の育成と強化に尽力した。 ○副会長6年 副理事長8年
4	福島県バドミントン協会	ち ば う め こ 千 葉 梅 子	富岡町	平成18年から現在に至るまでの長きにわたり、県バドミントン協会理事、審判委員会委員長、委員として、福島県内外の全国大会・東北大会の企画・運営に貢献した。また、富岡町スポーツ少年団(バドミントン)指導者として23年間指導(東日本大震災のため解散)、富岡オープン大会の事務局として長年貢献した。特に、日本バドミントン協会公認審判員資格審査認定委員として、福島県内の審判員育成・審判技術向上の功績が顕著で、現在も後進の育成・指導に尽力している。 ○理事19年
5	福島県なぎなた連盟	よ こ く ら え い こ 横 倉 英 子	会津若松市	平成7年本県開催の国民体育大会に向けて、競技総監督としてなぎなた選手育成に尽力し、見事に総合優勝に導き、福島県選手団代表として皇后杯を受け取った。 その後も、前理事長から、スポーツ少年団、地域の部活動指導、小中学校の武道授業指導者としての活動を引き継ぎ、精力的に活動した。また、連盟の運営をはじめ、地域の行事に積極的に協力し、地域の活性化となぎなたの普及活動に貢献した。 現在は、なぎなた連盟の副会長として後進の指導にあたり、組織運営のアドバイザー的存在となっている。さらに、なぎなた競技の普及活動やスポーツ少年団活動、地域部活動指導者として選手、愛好者の指導に尽力している。 ○理事長13年 副理事長21年
6	福島県ボウリング連盟	か き う ち ゆ た か 垣 内 泰	福島市	昭和62年から平成8年まで常任理事を10年間務め、平成9年から令和4年まで26年間副理事長を務め、令和5年から理事長を務め現在に至る。また、長年にわたり、行政(福島県スポーツ課、福島県スポーツ協会)担当として、行政とのやり取りを現在も行っている。また、福島国体以前より、国体強化指導委員および委員長を務めており、国体入賞のための強化計画および指導を行い貢献している。現在はジュニア選手の育成にも尽力している。現在も選手として全国大会等に率先して出場し数々の好成績を残し、選手の手本となっている。 ○理事長2年 副理事長26年

No.	推 薦 団 体	氏 名	市町村名	功 績 等
7	福島県オリエンテーリング協会	か　と　う　い　ち　ろ　う 加　藤　一　郎	福島市	昭和61年から現在に至るまで39年間の長きにわたり、県オリエンテーリング協会の役員として在職し、組織の充実・発展に大きく貢献したほか、学校行事や県内各地でオリエンテーリング大会を開催するなど、多くの実績を残しており、オリエンテーリングの普及に大きく貢献した。また、多くの指導員の育成に当たるなど、県内全体の技術力向上にも努めた。 さらに、全国規模の大会を数多く誘致し、特に、第41回全日本大会(平成27年)及び第12回全日本スプリント大会(令和元年)では、運営責任者として大会運営に尽力し成功に導いたことは、全国的にも高く評価されており、オリエンテーリングの発展に大きく貢献した。 現在は、県オリエンテーリング協会の顧問として、協会運営に対する助言や後進の育成・指導に努めているほか、大会にも参加し生涯スポーツであるオリエンテーリングの実践者として活躍している。 ○会長10年　理事長8年　副理事長10年
8	JABA福島県野球協会	まつもとか　ず　お 松　本　壹　雄	相馬市	平成8年、福島県野球連盟より社会人硬式野球部門を分離・独立させ「福島県野球協会」(平成29年にJABA福島県野球協会と改名)を発足した当初から理事長を務め、その後平成16年会長に就任し現在に至る。 平成29年5月には、評議員としての貢献に対し公益財団法人日本野球連盟より感謝状を授与される。また、2020東京オリンピック野球競技の福島県開催においては、地元野球団体のトップとして誘致活動から開催に至るまで多大なる貢献を果たした。 JABA福島県野球協会会長の傍ら、平成29年に県内のティーボール協会から還暦野球までの12団体をひとつにまとめた「福島県野球団体協議会」を設立し会長に就任、県内野球競技の普及・振興と競技団体の横断的組織強化に尽力している。 ○会長21年　理事長8年
9	県北地域連合会	かしわたに　き　よ　し 柏　谷　潔	本宮市	本宮市合併前の平成8年度から合併後の令和5年度まで本宮の卓球協会長として28年務め、休会状態であった卓球協会を軌道にのせるとともに、平成9年度には本宮卓球スポーツ少年団を設立した。 平成21年度から令和4年度までの14年間は本宮市体育協会副会長を務め、令和5年度からは、本宮市スポーツ協会長として地域のスポーツ普及及び振興に寄与している。 特に、卓球競技の普及発展のため、スポーツ少年団及び地域の卓球指導にあたり、卓球スポーツ少年団では、多くの選手を全国レベルに押し上げ、青少年の健全育成にも貢献した功績が顕著である。 ○本宮市スポーツ協会　会長2年　副会長14年
10	県中地域連合会	い　と　う　ひ　ら　お 伊　藤　平　男	須賀川市	平成25年から令和6年までの12年間須賀川市体育協会副会長、須賀川市卓球協会長を務め、須賀川市のスポーツ振興と発展に貢献した。 須賀川市卓球協会には30年以上所属し、市民体育祭の運営に携わるとともに、主催大会の牡丹杯や平石・横山杯を開催するなど、生涯スポーツの普及に尽力した。 また、中学生を中心とした強化リーグ大会を数多く開催し、青少年の健全育成にも貢献した。その功績は顕著である。 ○須賀川市体育協会　副会長12年
11	相双地域連合会	し　ぶ　や　よ　う　じ 渋　谷　容　寿	双葉町	平成17年度から20年度まで双葉町スポーツ協会事務局長、平成21年度から令和4年度まで理事長、令和5年度から現在まで理事として、協会の発展、町体育事業の普及・進行人に貢献した。また、ソフトボールの指導者として長年、後進の育成に尽力した。 東日本大震災発生以降は、全町避難、一部避難指示解除といったこれまで経験したことのない困難な状況においても協会を牽引し町民の健康と体力向上等、スポーツ振興に大きく寄与した。 特に、スポーツを通じて避難した町民の絆の維持に努めた功績は顕著である。 ○双葉町スポーツ協会　理事長14年
12	相双地域連合会	く　り　た　か　な　め 栗　田　要	双葉町	平成15年度から令和4年度まで双葉町スポーツ協会理事、令和5年から現在まで理事長として、協会の発展、町体育事業の普及・振興に貢献した。また、ソフトボールの指導者として長年、後進の育成に尽力した。 東日本大震災発生以降は、全町避難、一部避難指示解除といったこれまで経験したことのない困難な状況においても協会を牽引し、町民の健康と体力向上等、スポーツ振興に大きく寄与した。 特に、スポーツを通じて避難した町民の絆の維持に努めた功績は顕著である。 ○双葉町スポーツ協会　理事長2年　理事20年